

科目名 Course Name	相談援助の理論と方法Ⅲ Social Work Theory and Methods Ⅲ			ナンバリング No.	I3-002		
年次	2 年次	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	佐藤 佳子						
連絡先(質問等)	栄養棟 3 階研究室へ来室、またはメールで対応、オフィスアワーは、授業以外の時間。						
必修/選択	選択(社会福祉士受験資格必修)						
関連 DP	DP3,DP4,DP5						
授業の概要と到達目標	<p>本講では、ケース(ケア)マネジメント、グループワーク等を取り上げ、相談援助過程について学習し、事例や演習を取り入れ、ケースの開始から終結までを体験あるいは概観する。そのなかで意義や目的、方法、留意点などについて講述する。</p> <p>①相談援助活動の対象の特徴を述べるようにする。 ②相談援助の意義と形態を説明できるようにする。 ③相談援助のプロセスを事例を通して確認できるようにする。 ④各相談援助技術の特徴と活用を学び、総合的な援助を例証できるようにする。</p>						
授業の方法	テキストと視聴覚教材、関連資料を使用した講義方式とするが、理解を深めるため、グループワークやディスカッションを取り入れる。毎回書き込み式の資料とリアクションペーパーを記入させ、授業の振り返りと知識定着を図る。						
学習成果	L01						
	L02	相談援助活動の対象の特徴と援助技術を列挙でき、知識と技術がどのように活用されているのかを確認できる。					
	L03	事例のなかで活用されている援助技術や各援助技術の関連を明確にできる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	授業終了後のリアクションペーパーにて理解度等を測定、記載された質問事項には、翌週回答する。						
教科書/参考図書	教科書:「相談援助の理論と方法Ⅱ」弘文堂(相談援助の理論と方法Ⅰ・Ⅱで使用したもの)						
履修上の留意点やルール等	私語、携帯電話の使用を禁止。授業に関係のないもの(携帯電話、飲食物、化粧品、手帳)はかばんにしまうこと。配布資料・板書のデジタル化禁止。他の受講生に迷惑をかける行為があった場合は、退出を求めることがある。テキスト等、必ず持参すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の視点で判断する。履修上の留意点を遵守し、遅刻なく準備を整え授業に臨み、必要なことはノートをとり、学んでいること。周りに迷惑をかけるような態度は、減点対象とする。		30		
レポート/作品					
発表					
小テスト					
試験	選択式、穴埋め、記述、事例問題、文章の正誤を判断する問題等により、知識の確認をする。		30	40	
その他					
合計			60	40	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス 相談援助における対象の理解
	事前・事後学習	事後:シラバスを確認。テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
2	授業内容	ケースマネジメントとケアマネジメント①
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
3	授業内容	ケースマネジメントとケアマネジメント②
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
4	授業内容	ケースマネジメントとケアマネジメント③
	事前・事後学習	事前:事前資料を読んでおく 事後:事後課題を実施。
5	授業内容	アウトリーチサービス①(アウトリーチの意義、目的、方法、留意点)
	事前・事後学習	事前:前回の課題をグループで確認しておく。 事後:事後レポート。
6	授業内容	アウトリーチサービス②(アウトリーチを必要とする対象、ニーズの掘り起こし)
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
7	授業内容	社会資源の活用①(意義、目的、方法、留意点)
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
8	授業内容	社会資源の活用②(ニーズの集約、提言、計画策定、実施、評価)
	事前・事後学習	事前:居住地の社会資源を調べる 事後:居住地の社会資源の活用をシュミレーションする。
9	授業内容	社会資源の活用③
	事前・事後学習	事前:居住地の社会資源を調べ、まとめておく 事後:発表後のまとめ
10	授業内容	集団を活用した相談援助①
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
11	授業内容	集団を活用した相談援助②
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
12	授業内容	集団を活用した相談援助③グループワーク実施【佐野市連携事業】 外部講師:佐野市教育センターSSW 大山裕明氏 船田千恵子氏
	事前・事後学習	事前:グループごとに課題に取り組む 事後:グループごとの課題に取り組む
13	授業内容	集団を活用した相談援助④グループワーク実施【佐野市連携事業】
	事前・事後学習	事前:グループごとに課題に取り組む 事後:グループごとの課題に取り組む
14	授業内容	集団を活用した相談援助⑤ グループワーク実施【佐野市連携事業】
	事前・事後学習	事前:グループごとに規定の課題を仕上げしておく。 事後:事後レポート
15	授業内容	前期のまとめ
	事前・事後学習	事前:配布資料を過不足のないよう整理して持参する 事後:試験勉強